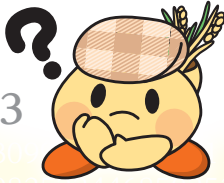


数字で振り返る岩見沢

262.0 1,112 94,802
5,292 ? 99.2
38,243 5,345



暮らしを守る

第11回 都市インフラと道路

私たちの日常生活は、気象など身近な自然現象のほか、通学や通勤時の交通、食料品などの買い物、ごみ処理、病院や学校、住まいの快適さなど、さまざまな社会現象と関わっています。こうしたさまざまな現象を正しく理解するため、岩見沢に関する統計数字を過去に遡って紹介していきます。

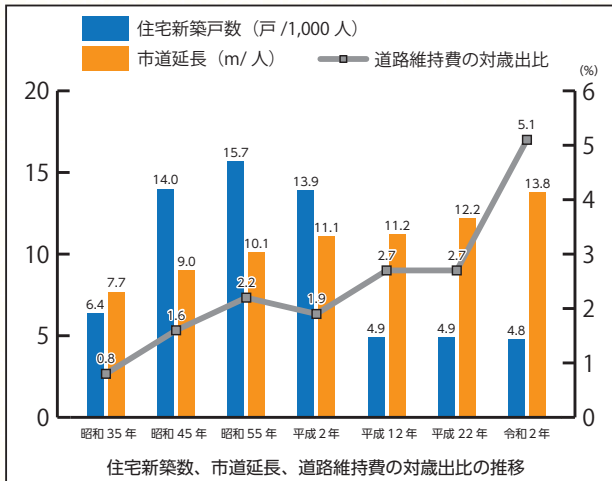
問合先 庶務課市史資料室（北村支所内） ☎ 56-2001

今月の数字 5.1 パーセント

道路は、生活や産業経済活動にとっても重要です。荷物の運搬に荷馬車が使われていた時代、冬季の市街地は馬そりでにぎわい、春の雪解け時期には街中が馬糞風や石炭灰に悩まされていました。そこで市は、昭和30年に舗装工事費負担金条例を制定し、並行して寒冷地向け簡易舗装の普及を進めました。また、昭和50年代にかけて日の出や美園、南町方面などに住宅団地が広がり、住宅の建築戸数が増加。昭和55年の新築戸数は、1,000人当たり15.7戸を数え、郊外に広がる住宅団地や工業団地は、伸びゆくまちの素顔として広報いわみざわでも紹介されました。



昭和44年ごろの道路舗装工事



都市インフラの骨格でもある市道は年々距離が延び、平成2年には総延長1,000キロメートル、市民1人当たり11メートルを超えました。一方で、四季を通して安全に自動車を利用できるよう、除排雪をはじめとした維持費用も増加していきました。市の歳出に占める道路維持費の対歳出比は、平成12年から22年にかけては2パーセント台で、令和2年は5.1パーセントとなっています。

道路は私たちの生活を支え、まちの活力を生み出してくれます。これまで整備してきた市道などのインフラを未来に引き継ぐため、市は社会の変化と技術の進歩に対応しながら、道路の維持管理に努めていきます。

広報紙はとじておきましょう

人の動き (令和6年12月31日現在)

- 住民基本台帳 人口
 - 男 34,633 人 (前月比 - 73)
 - 女 39,571 人 (前月比 - 74)
 - 総数 74,204 人 (前月比 - 147)
- 世帯数 40,440 世帯 (前月比 - 67)

岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
☎ 0126-23-4111 (代表) FAX 0126-23-9977
ホームページ

<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>



X (旧Twitter) Facebook Instagram LINE

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課広報室

広報クイズ

問題

20歳の皆さんが生まれた2004年に開催されたアテネオリンピックで、岩見沢市ゆかりの田南部力選手がメダルを獲得しました。□に当てはまる言葉をお答えください。

プレゼント

正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント

締め切り 2月20日(木) (必着)

応募方法

はがき(送付先左記)、市ホームページのフォーム、ファックス(0126-23-7731)、Eメール(pr@city.iwamizawa.lg.jp)で、●クイズの答え●住所●氏名●年齢●電話番号●広報紙に関するご意見・ご要望を必ず記入し、総務部秘書課広報室へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。1月号の正解は相談でした。

